



©KADOKAWA



©KADOKAWA



相米慎二 (そうまいしんじ、映画監督)
 1948年 岩手県盛岡市生まれ
 1967年 中央大学文学部入学
 1972年 日活撮影所で契約助監督に
 1980年 「翔んだカップル」で監督デビュー
 1981年 「セーラー服と機関銃」が大ヒット
 以後、際立った演出法と多様な作品群により不動の位置を得る。
 2001年 9月9日、13作品を世に遺し、肺がんのため死去。享年53歳。
 生涯独身であったため、現在は、父親の出身地である青森県田子町相米地区の先祖代々の墓で安らかに眠っている。



©KADOKAWA

入場無料

ただし事前配布する**入場整理券が必要**です。
また、小学生以下のご入場はご遠慮いただきます。

【入場整理券をご希望の方は】

町内に在住または在勤・通学している方は……
平日の開庁時間（月～金／8:15～17:00）に役場政策推進課で直接お渡しします。＊身分証をご持参ください。
1人2枚までの配布。配布期間＝8月27日（水）まで。

上記以外の方は……

往復はがき（官製に限る／私製は無効）に下記の必要事項をご記入の上、〒039-0292（住所不要）田子町役場政策推進課「相米慎二監督映画祭り」係 あてにお送りください。

【必要記入事項】

「往信用裏面」には、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号、⑤希望枚数（2枚まで）
「返信用表面」には、①郵便番号、②住所、③氏名
●締め切り＝8月15日（金）当日消印有効
※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

日時

平成26年 8月30日 土
午後1時30分～

場所

田子町タプコピアプラザホール
青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂向 22-9
(Tel: 0179-20-7229)

- 13:00 … 開場（13:20頃までに受付をお済ませください。）
- 13:30 … 開会、
映画上映（セーラー服と機関銃）
- 15:50 … トークショー
- 17:00 … 閉会

トークショー

<ゲスト> (来場予定)



田中陽造 (たなかようぞう、脚本家)

1939年 東京日本橋生まれ。早稲田大学文学部卒業後、日劇ミュージカルホルの演出部、週刊誌の記者などを経てシナリオ・ライターとなる。同時期、早稲田の先輩に当たる大和屋空氏に誘われたことがきっかけで日活の鈴木清順氏のグループに加わり「真流八郎」の集団ペンネームでシナリオを書き始めた。
1980年鈴木清順監督作品「ツイゴインルワイゼン」で毎日映画コンクール脚本賞、1995年渡邊孝好監督作品「居酒屋ゆうれい」でキネマ旬報脚本賞、毎日映画コンクール脚本賞、1998年「ちよんざれちよんざれー青春紙風船ー」(未製作)で日本シナリオ作家協会賞。2010年根岸吉太郎監督作品「ヴィヨンの妻ー桜桃とたんぽぽー」で毎日映画コンクール脚本賞、日本アカデミー賞優秀脚本賞受賞。



寺田 農 (てらだみのり、俳優)

1942年 東京生まれ。早稲田大学入学とともに文学座付属演劇研究所に入り、1961年「十日の菊」で初舞台。1962年フジテレビ「われら青春」でテレビ初出演。1963年大学を中退。1964年劇団雲に入団、「じゃじゃ馬ならし」「黄金の国」などの舞台に立つ。同年「恐山の女」で映画デビュー。日本テレビ「青春とはなんだ」にも出演し注目される。1968年「肉弾」(岡本八監督)で主役に抜擢され、毎日映画コンクール男優主演賞等数々の映画賞を受賞。1970年劇団雲を退団。以後、映画・テレビ・舞台の出演多数。また、ナレーションや朗読の分野でも活躍。趣味はクラシック音楽鑑賞、サッカー等々。2007年、板橋区立美術館運営協議会長に就任。

<聞き手>



榎戸耕史 (えのきどうじ、映画監督)

・1952年 茨城県生まれ。上智大学文学部卒。
・フリーランスの助監督として相米慎二、長谷川和彦、寺山修司らの助監督をつとめる。
・1988年「ふたりぼっち」で監督デビュー。
・2007年より桜美林大学総合文化学群教授をつとめる。
・2014年4月「映画監督相米慎二を語りつくす会」顧問に就任。

※ただし、スケジュール等により、出演者が変更になる場合もあります。

相米慎二監督 映画祭り



【主催：青森県田子町】

●後援：田子町教育委員会／公益財団法人にんにくネットワーク／映画監督相米慎二を語りつくす会 ●協力：青森映研 ●問い合わせ先＝田子町役場政策推進課 TEL 0179-20-7127